

報道関係者各位  
2022年9月28日(水)

東洋製罐グループホールディングス株式会社

## 東洋製罐グループが容器を中心とした2040年の未来予測に初めて挑戦

### アジア最大の国際総合包装展「TOKYO PACK 2022」にて、

### 「つつむを超える。」をコンセプトにグループ初となる未来を描いた展示ブースを展開

東洋製罐グループは、2022年10月12日(水)から14日(金)の3日間、東京ビッグサイト(東京国際展示場)にて行われるアジア最大の国際総合包装展「TOKYO PACK 2022」に出展することをお知らせいたします。本展示では、「つつむを超える。」をコンセプトに、「食と健康、快適な生活を支える容器の未来」に関するグループ初となる未来を描いた大型の展示ブースを出展いたします。



展示ブースイメージ



東洋製罐グループが描く未来の展示イメージ一例

### 「TOKYO PACK 2022」出展の背景

近年、世界各国ではSDGsへの取り組みを加速させており、同時に環境問題や食糧問題など様々な社会課題に直面しています。日本においては、2025年から2040年のわずか15年間において、労働人口(20歳~64歳)が約1,000万人も減少するとされる「2040年問題」も叫ばれており、深刻な「超高齢化社会」が近づいています。

創業100年以上の歴史を持つ東洋製罐グループは、これまで世の中が抱える様々な課題に対して真剣に向き合い、“日本初の自動製缶”や“世界初のレトルトパウチ”など、現在ではスタンダードになっている多くの包む技術を発明し、様々な容器のイノベーションによって社会課題の解決に寄与してきました。同時に、近い未来に直面する課題に対しても、業界最大手のメーカーとして、“当グループの技術がどのように活用され、どのように世の中へ貢献できるのか”といった未来の視点を大切に事業を展開しています。

### 東洋製罐グループが描く「つつむを超える。」6つの未来の展示

そしてこの度、2022年10月12日(水)から14日(金)の3日間、東京ビッグサイト(東京国際展示場)にて行われるアジア最大の国際総合包装展「TOKYO PACK 2022」において、「つつむを超える。」をコンセプトに、容器を中心とした2040年の未来の予測に当グループとして初めて挑戦し、「食と健康、快適な生活を支える容器の未来」に関する未来を描いた大型の展示ブースを展開いたします。

今回は、当グループが長期ビジョンで掲げている「多様性への対応」、「持続可能な社会への実現」から、「多様性への対応」に焦点を当てた展示を展開いたします。環境問題や食糧問題、「2040年問題」といった様々な社会課題に向き合い、具体的な6つの未来のシーンを想定したうえで、当グループがご提案する“未来のスタンダード”を、パネルや動画、実物のプロダクトを用いて表現いたします。2040年は、当グループの「長期経営ビジョン2050『未来をつつむ』」の10年前に当たり、様々な社会問題が懸念されるタイミングでもあります。2040年の未来の課題に対して、我々の技術がどのように介在し、どのように世の中へ貢献していくのかを表現します。“容器”はもちろんのこと、当グループが見据える「つつむを超える。」少し先の未来をご体感いただけるブースとなっております。

## 《出展イメージ》

### ①未来の食卓 ～食需要が細分化され、食のパーソナライズ化が進んだ未来～



未来では、3Dフードプリンティング技術により、個人の不足している栄養素をパーソナライズして日々の食事を摂る世の中になっていると推測されます。東洋製罐グループは、容器の進化とともに、代替食品メーカーとの協業を通じて、パーソナライズとサステナブルが一体となった食卓のあり方を提案していきます。

### ②未来のヘルスケア ～生活データの収集・分析によって、未然に病気が防げる未来～



未来では、病気の予防・早期発見を実現するためには継続的なライフログの蓄積が必要不可欠になっていると考えられます。東洋製罐グループは、インターネットに接続されたIoP(Internet of Package)容器から、日々の生活行動データを取得し、身体の変化や、運動量の変化を定量的に観測し、健康管理に寄与していきます。

### ③未来のキッチン ～小ロット化が進み、誰でも自由に創作ができる未来～



未来では、あらゆる食品加工技術がオープンになることで、食文化の発展はさらに加速すると考えられます。誰が作っても、安全・高品質・適正コストを担保できるように、東洋製罐グループの持つ過去の膨大な食材加工データを元に、食材、料理、気温、容器、趣向などの様々な条件からシミュレーションをおこない、最適な食の処方や殺菌条件を提案していきます。

### ④未来のリサイクル ～トークンエコノミーによって、資源循環が進んだ未来～



未来では、資源循環に直接貢献でき、サステナビリティを高めるリサイクル方法であるマテリアルリサイクルの比率が高まると推測されます。東洋製罐グループの技術を結集し、マテリアルリサイクルの実現に必要な、食品残渣の洗浄、マテリアル単位での分別、素材の圧縮、リサイクル参画者を増やす体験設計といった課題を解決していきます。

### ⑤未来のスーパー ～生産システムが変化し、店舗の役割が拡張した未来～



未来では、モノだけでなく、そのモノを購入するまでのサプライチェーン全体を生活者が選択していく時代になっているのではないのでしょうか。購入時の情報や、購入者のライフスタイルに合わせて、最適な素材・サイズでの包装をおこない、環境・使う人の双方に優しいエシカルパッケージを東洋製罐グループの包装技術で提供していきます。

### ⑥未来のインフラ ～社会のインフラが自動で制御され、誰もが心地よく暮らすことができる未来～



未来では、日本の労働力不足を解消するために、自動運転やドローンによる配送など、これまでになかったインフラ整備や法改正が進むと考えられます。無人でのビルなどの高所の外壁洗浄やメンテナンスを可能にする「ドローンに着脱可能な遠隔型スプレー缶噴射装置」といった新テクノロジー開発、機能性素材の開発によって、東洋製罐グループは暮らしやすい社会づくりに貢献していきます。

その他、展示物などの出展情報は2022年10月12日（水）10:00より特設サイトにて公開いたします。

## 東洋製罐グループ出展ブースのステートメント

私たちは包んできた。

100年以上技術を磨く間に、

容器だけの会社ではなくなった。

つくるのは入れものではない、新しい暮らしだ。

食べる、健康を守る、物を運ぶ、今を楽しむ。

大人も子どもも赤ちゃんもお年寄りも。

いちばん近くで人を見てきたからこそ、次の日常を提案できる。

時代を切り拓く発明ができる。

それは生活になじみ、やがて注目されなくなるが、それこそが私たちの成功だ。

少し前まで未来だと呼ばれていた景色の一部になれたのだから。

容器を進化させる。

環境を大切にしながら。

それは、容器の形にとらわれない。

人間を見つめてきた目と、明日をよくする技術で。

同じ志をもつ仲間と、まだ見ぬ未来へ。

# つつむを超える。

### 《TOKYO PACK 2022 出展情報》

会期：2022年10月12日（水）～14日（金）

時間：10:00～17:00

会場：東京ビッグサイト（東京国際展示場）東1～3ホール・東6ホール

東洋製罐グループ出展場所：東3ホール、ブースNo.E3-45

### 《TOKYO PACKとは》

TOKYO PACK "東京国際包装展"は、さまざまな業界で活躍している包装資材・容器、包装機械を中心に、調達から生産、物流、流通、販売、消費、廃棄・リサイクルに至るまでのあらゆる分野を網羅した世界有数の国際総合包装展です。

TOKYO PACK 2022 URL：<https://www.tokyo-pack.jp/>

### 会社概要

会社名：東洋製罐グループホールディングス株式会社

創立：1917年（大正6年）6月25日

代表者：取締役社長 大塚一男

本社：〒141-8627東京都品川区東五反田二丁目18番1号大崎フォレストビルディング

URL：<https://www.tskg-hd.com/>

【本リリースに関する報道関係者様からのお問い合わせ先】

東洋製罐グループホールディングス PR事務局 担当：中田・北出

tel：03-6450-5457 fax：03-5539-4255 mail：[toyoseikangr-pr@skewinc.co.jp](mailto:toyoseikangr-pr@skewinc.co.jp)